

市内の魅力を見て歩いて再発見！

かわちながの

歩
つとスポット
KAWACHINAGANO
HOT SPOT

11

「本多忠統」ゆかりのコース

現在の長野小学校・中学校一帯に陣屋を構え
將軍吉宗の享保の改革に力を尽くすなど
優れた功績のある忠統ゆかりの地を訪ねませんか

4 西代藩陣屋跡

西代藩は、近江膳所藩から分かれて成立した藩であり、長野小学校・中学校一帯に藩政の拠点である陣屋を構えていました。陣屋は、藩主の本多忠統によって正徳元年(1711)に置かれ、伊勢神戸藩に転封(領地替え)となる享保17年(1732)まで存続しました。



写真はラブリーホール建設前の発掘調査の現場。
現在は埋め戻されて、説明板が立っています

2 長野神社

長野神社の額は7代藩主忠廉の書と伝わっています。



1 御所の辻

後村上天皇が吉野から金剛寺へ向かう途中、日没となって、夜を明かしたと伝わる辻。



3 西代神社

西代神社には、本多忠統が伊勢神戸へ赴任する際に、その徳をしのんで奉納したとされる西代神楽が伝わっています。



西代神楽は秋祭りの時期に奉納されます

スタート地点から御所の辻を訪れたあとは旧線路敷の遊歩道へ。赤レンガの橋脚など鉄道だった名残を発見するのも楽しい道です。三日市町駅から途中までは高野街道を通って長野神社へ。さらに天野酒酒蔵と西代神社を経て、ラブリーホール正面右端の西代藩陣屋跡の説明板がゴールです。



地蔵寺

忠統は、享保2年(1717)9月に地蔵寺を訪れ、同寺の蓮体和尚と詩を詠みかわしたと寺の記録に残っています。※境内には参拝者以外は許可なく入れません。



⚠ このマークのある箇所は通行にご注意ください



本多忠統肖像／個人蔵

本多忠統とは

本多忠統は、西代藩の2代目藩主であり、徳川吉宗が行った享保の改革を財政面から支え、大きな功績を残しました。また、優れた文人としても知られています。